令和２年度　年間授業計画　　東京都立小山台高等学校

教科名	地歴公民	科目名	日本史Ｂ
使用教科書・補助教材			
『詳説日本史Ｂ』（山川出版社） 『詳説日本史図録』（山川出版社） 『新詳述日本史史料集』（実教出版） 『日本史用語集』（山川出版社） 『日本史100題』（Ｚ会）			

学年	授業形態
３年	必修選択

単位数	授業時数
6	234

学習目標	日本の歴史を広く世界史的視点に立って、政治・経済・文化などの歴史を中心に総合的に理解させ、歴史的思考力を養う。あわせて生徒のめざす難関大学の受験の学力向上を目指すことを目標とする。

授業内容の概要

学期	単元名 学習項目	学習内容	家庭で学習すること(学習形態⇒確認方法) 学校で学習すること
一学期	原始古代 中世 近世	１．日本文化のあけぼの ２．律令国家の形成 ３．貴族政治と国風文化 ４．中世社会の成立 ５．武家社会の成長 ６．幕藩体制の確立 ７．幕藩体制の展開 ８．幕藩体制の動揺	自学自習できる課題プリントや配布済の問題集を指示に従って学習する。また適宜オンディマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。 前近代（特に中世以降を中心とする）の日本史を政治史・社会経済史・文化史を中心に、広く世界史的視野に立って考察しながら理解を深める。詳細な部分よりは大きな歴史的展開を理解し、歴史的考察力を深める。 さらに難関大学の受験に対応できる学力を身につけるために、自ら考察を深め自身の言葉で各事項を表現できるよ
二学期	近代 現代	９．近代国家の成立 １０．近代日本とアジア １１．占領下の日本 １２．高度成長の時代 １３．激動する世界と日本	自学自習できる課題プリントや配布済の問題集を指示に従って学習する。また適宜オンディマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。 近現代の日本史を政治史・外交史・社会経済史・文化史など幅広く、世界史的視野に立って考察しながら理解を深める。大きな歴史的展開を理解し歴史的考察力を深めとともに、詳細な部分の理解にも努める。 さらに難関大学の受験に対応できる学力を身につけるために、自ら考察を深め自身の言葉で各事項を表現できるよ
三学期	特別編成授業を実施	テーマ史及び入試問題演習	自学自習できる課題プリントや配布済の問題集を指示に従って学習する。また適宜オンディマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。 早慶上智など難関私大、国公立大学の論述問題などに対応できる実力を養成する。論述問題については随時添削指導を実施する。

評価の観点と方法	評価は、定期考査・小テストを中心に、課題の提出状況など平常の学習活動も評価の対象とする。

令和２年度　年間授業計画　　東京都立小山台高等学校

教科名	地理歴史	科目名	地理B

学年	授業形態
3	必選

単位数	授業時数
4	156

使用教科書・補助教材

『新詳地理Ｂ　帝国書院』
『新詳高等地図帳　帝国書院』
『新詳地理資料集COMPLETE2018　帝国書院』
『2020データブック オブ・ザ・ワールド 二宮書店』
『地理用語集　山川出版社』
『2021センター試験実戦問題集 地理Ｂ　代ゼミ』

学習目標

系統的、地誌的双方の観点を織り交ぜながら、多面的・多角的な地理的なものの見方や国際的視野を広げる。
共通試験への対応も配慮する。

授業内容の概要

学期	単元名 学習項目	学習内容	家庭で学習すること(学習形態⇒確認方法) 学校で学習すること
一学期	1部2部地理的技能・考察 1章自然環境	１世界の地形 ２世界の気候 ３日本の自然の特徴と人々の生活	自学自習できる課題プリント・配布済の問題集を指示に従って学習する。適宜オンデマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。
一学期	2章資源と産業 ３章人口・村落・都市	４環境問題 1世界の農林水産業 ２食糧問題 ３世界のエネルギー ４世界の工業 ５第三次産業 ６世界の交通・通信 ７現代社会の貿易と経済圏	世界の地形について、営力的な視点で分類し地形の成因を考察するとともに人間生活との関わりなど幅広く、多角的視野に立って考察しながら理解を深める。大きな地理的展開を理解し地理的考察力を深めとともに、詳細な部分の理解にも努める。 さらに難関大学の受験に対応できる学力を身につけるために、自ら考察を深め自身の言葉で各
二学期	4章生活文化・民族・宗教	１生活文化 ２民族と宗教 ３現代社会の国家 ４民族・領土問題	自学自習できる課題プリントや配布済の問題集を指示に従って学習する。また適宜オンディマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。
二学期	３部地誌的考察 1章現代社会地域区分 2章現代社会の諸地域	１東アジア ２東南アジア ３南アジア ４西・中央アジア ５北アフリカとサハラ以南のアフリカ ６ヨーロッパ ７ロシア ８アングロアメリカ ９ラテンアメリカ １０オセアニア	各地域について、地形と気候、自然、歴史、文化、民族、宗教、農林水産業、経済と経済圏、諸地域との関わりなど幅広く、多角的視野に立って考察しながら理解を深める。大きな地理的展開を理解し地理的考察力を深めとともに、詳細な部分の理解にも努める。 さらに難関大学の受験に対応できる学力を身につけるために、自ら考察を深め自身の言葉で各
三学期	特別授業	共通試験問題演習	自学自習できる課題プリントや配布済の問題集を指示に従って学習する。また適宜オンディマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。 論述問題などに対応できる実力を養成する。個々の生徒の状況に合わせた演習・課題等を実施する。

評価の観点と方法

評価は、定期考査・小テストを中心に、課題の提出状況など平常の学習活動も評価の対象とする。

令和２年度　年間授業計画　　東京都立小山台高等学校

教科名	地理歴史	科目名	世界史Ｂ
使用教科書・補助教材			
『山川出版社　詳説世界史Ｂ 改訂版』 『浜島書店　ニューステージ世界史詳覧』 『浜島書店　総合マスター世界史Ｂ』			

学年	授業形態
3	必修選択

単位数	授業時数
6	234

学習目標	現代の視点と、日本人の立場から、世界の歴史に関する基本的事項を理解させ、歴史的思考力を培う。 また、大学入試に対応できる学力の向上を図る。

授業内容の概要

学期	単元名 学習項目	学習内容	家庭で学習すること(学習形態⇒確認方法) 学校で学習すること
一学期	先史の世界 オリエントと地中海世界	先史の時代 古代オリエント世界 ギリシア世界 ローマ世界・イラン文明	基本事項のまとめや予習テキストをオンラインで配布し、学校で確認テストを行って定着度を確認する。適宜、オンライン授業も実施する。
	南アジアの古代文明 東アジア世界の形成と内陸アジア世界	インドの古代文明 中国の古典文明 北方民族の活動と中国の分裂 東アジア諸地域の自立化 モンゴル民族の発展 東アジア・東南アジア世界の動向	古代史について、基本的な事項・事柄を精選して授業内容を構成し、各文明世界の特徴を理解させる。また、各文明世界同士の交流についても考察する。学習にあたっては、事項をただ暗記するだけでなく、説明をできるように指導し、思考力・判断力に加えて、表現力を育む。
二学期	イスラーム世界の形成と展開	イスラーム帝国の成立 イスラーム帝国の発展 インド･東南アジア･アフリカのイスラーム化	文化史や重要ポイントなど自習で学習を進められる分野については、自習用の確認テキストをオンラインで配布し、登校時に適宜確認テストを行って自習事項の定着を図っていく。必要に応じて、オンライン授業も実施する。
	ヨーロッパ世界の形成と展開	西ヨーロッパ世界 東ヨーロッパ世界 西ヨーロッパ世界の変容	中世の各地域世界の特徴と相互の交流について、特徴・比較・影響などを多角的に理解できるように考察していく。 また、現代世界の形成について、現在とのつながりや、日本史との関連を重視して理解を深める。 学習にあたっては、事項を覚えるだけではなく、論述問題などを通じて、思考力・判断力・表現力を高めていく。
	帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義と列強の展開 世界分割と列強対立	
	二つの世界大戦	第一次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 世界恐慌とファシズム諸国の侵略 第二次世界大戦	
三学期	テーマ史 大学入試対策	重要テーマ史 大学入試対策問題演習	生徒ごとにそれぞれの受験に対応した対策問題を配布し、生徒が各自で入試対策に取り組めるようにしていく。そして、授業やオンラインでの解説、個別指導を行う。
			問題演習と入試で問われる重要テーマ史の確認を行い、大学入試に対応できる応用力を完成させる。

評価の観点と方法	現代世界の形成の歴史的過程と世界の歴史における各文化圏の特色について理解出来たか、また歴史的思考力を培うことが出来たか、更には、その基礎となる歴史用語・歴史的事項をおさえられたかを、定期考査、小テスト、提出物、日常の授業における態度や姿勢などにより総合的に判断し評価する。

令和２年度　年間授業計画　　東京都立小山台高等学校

教科名	公民	科目名	倫理

学年	授業形態
3	選択

単位数	授業時数
2	78

使用教科書・補助教材
山川出版社『改訂版　現代の倫理』 実教出版『詳解倫理資料　新訂版』 第一学習社『ステップアップ倫理　Ethics』 山川出版社『改訂版　現代の倫理』

学習目標	大学入試センター試験を「倫理、政経」「倫理」で受験する者の実力養成に主眼をおき、講義と演習を行い、あわせて小山台教養主義にふさわしい幅広い教養や思考法を身につけさせる。

授業内容の概要

学期	単元名 学習項目	学習内容	家庭で学習すること(学習形態⇒確認方法) 学校で学習すること
一学期	人間とは何か	アイデンティティのエリクソンやフロイト、フランクルなど	自習用の解説と学習課題プリントをＨＰにアップして学習を支援する。 オンラインを用いた解説動画をアップする。
一学期	青年期の意義、課題 源流思想 ・ギリシア、キリスト教、中国思想 イスラム、仏教	自然哲学とソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス、ヘレニズム、古代ユダヤ教、イエス、パウロ、儒家、墨家、老荘思想、世界宗教の姿、イスラーム、古代インド思想、ブッダ	小山台教養主義のもと、世界の絵画と芸術について人類の歩みと関連させて学ぶ。絵画や詩などの作品を人間を考える契機として活用し、「倫理」の全体像をつかませる。
二学期	日本の思想 ・キリスト教の受容、近代的自我、伝統の自覚 平和主義 西洋哲学～近現代思想 ・人間の尊厳(ルネサンス) 科学・技術と人間、 民主社会と自由の実現 社会と個人 人間への新たな問い 社会参加と幸福 現代の諸課題と倫理	内村鑑三、海老名弾正、新島襄 石橋湛山と大正デモクラシー、 西田幾多郎、和辻哲郎、柳田国男、 南方熊楠、柳宗悦 ルネサンス、宗教改革、近代科学の誕生、経験論と合理論、社会契約説、人格の尊厳カント、人倫へーゲル、功利主義、プラグマティズム、社会主義、キルケゴールとニーチェ、実存主義、精神分析学、言語ソシュールとウィトゲンシュタイン、フランクフルト学派、構造主義、生命への畏敬と非暴力、ロールズとセン、マザー・テレサ	自習用の解説と学習課題プリントをＨＰにアップして学習を支援する。 オンラインを用いた解説動画をアップする。 生徒各自の問題意識に合わせて、現代の課題を考察してゆく。その際、記述論述の力を養うようにする。
三学期	まとめと共通テスト対策	倫理の全範囲	自習用の解説と学習課題プリントをＨＰにアップして学習を支援する。 オンラインを用いた解説動画をアップする。 倫理の総合問題、共通テスト対策問題を実施し、生徒の到達度合いを確認したうえで、ねばり強く、基礎確認や弱点補強を行う。

評価の観点と方法	定期考査を主とするが、その他小テストや演習課題などへの取り組みや成長度合いを見て、知識・理解・関心・意欲・態度などの観点で総合的に評価する。その際に「小山台教養主義」に通じる思考力、分析力、表現力などにも考慮する。

令和２年度　年間授業計画　　東京都立小山台高等学校

教科名	地歴公民	科目名	日本史Ｂ（演習）
使用教科書・補助教材			
『詳説日本史Ｂ』（山川出版社） 『詳説日本史図録』（山川出版社） 『新詳述日本史史料集』（実教出版） 『日本史用語集』（山川出版社） 『日本史100題』（Ｚ会） 『４ステージ演習ノート』（数研出版）			

学年	授業形態
３年	必修選択

単位数	授業時数
2	78

学習目標	必修選択の授業の復習や受験問題を中心に問題演習に取り組み、受験に向けた実力向上を図る。

授業内容の概要	学期	単元名 学習項目	学習内容	家庭で学習すること(学習形態⇒確認方法) 学校で学習すること
	一学期	原始古代 中世 近世	１．日本文化のあけぼの ２．律令国家の形成 ３．貴族政治と国風文化 ４．中世社会の成立 ５．武家社会の成長 ６．幕藩体制の確立 ７．幕藩体制の展開 ８．幕藩体制の動揺	自学自習できる課題プリントや配布済の問題集を指示に従って学習する。また適宜オンディマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。 ・テーマ史など復習用のプリント随時配布し、考察・理解を深める。 ・問題集や問題プリントに実践的に取り組み、さらに解説・解答を通して理解を深め、難関大学の受験問題に対応する実力を養成する。 ・随時、小テスト実施し知識の定着を図る。
	二学期	近代 現代	９．近代国家の成立 １０．近代日本とアジア １１．占領下の日本 １２．高度成長の時代 １３．激動する世界と日本	自学自習できる課題プリントや配布済の問題集を指示に従って学習する。また適宜オンディマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。 ・テーマ史など復習用のプリント随時配布し、考察・理解を深める。 ・問題集や問題プリントに実践的に取り組み、さらに解説・解答を通して理解を深め、難関大学の受験問題に対応する実力を養成する。 ・随時、小テスト実施し知識の定着を図る。
	三学期	特別編成授業を実施	テーマ史及び入試問題演習	自学自習できる課題プリントや配布済の問題集を指示に従って学習する。また適宜オンディマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。 早慶上智など難関私大、国公立大学の論述問題などに対応できる実力を養成する。論述問題については随時添削指導を実施する。

評価の観点と方法	評価は、小テストを中心に課題の提出状況など平常の学習活動を評価の対象とし、必修選択と合わせて行う。

令和２年度　年間授業計画　　東京都立小山台高等学校

教科名	地理歴史	科目名	地理B
使用教科書・補助教材	『新詳地理Ｂ　帝国書院』 『新詳高等地図帳　帝国書院』 『新詳地理資料集COMPLETE2018　帝国書院』 『2020データブック オブ・ザ・ワールド 二宮書店』 『地理用語集　山川出版社』 『2021センター試験実戦問題集 地理Ｂ　代ゼミ』		

学年	授業形態
3	選択

単位数	授業時数
2	78

学習目標	系統的、地誌的双方の観点を織り交ぜながら、多面的・多角的な地理的なものの見方や国際的視野を広げる。 共通試験への対応も配慮する。

授業内容の概要

学期	単元名 学習項目	学習内容	家庭で学習すること(学習形態⇒確認方法) 学校で学習すること
一学期	1部2部地理的技能・考察 1章自然環境	１世界の地形 ２世界の気候 ３日本の自然の特徴と人々の生活	自学自習できる課題プリント・配布済の問題集を指示に従って学習する。適宜オンデマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。
	2章資源と産業 ３章人口・村落・都市	４環境問題 1世界の農林水産業 ２食糧問題 ３世界のエネルギー ４世界の工業 ５第三次産業 ６世界の交通・通信 ７現代社会の貿易と経済圏	世界の地形について、営力的な視点で分類し地形の成因を考察するとともに人間生活との関わりなど幅広く、多角的視野に立って考察しながら理解を深める。大きな地理的展開を理解し地理的考察力を深めとともに、詳細な部分の理解にも努める。 さらに,共通試験・難関大学の受験に対応できる学力を身につけるために、自ら考察を深め自身
二学期	4章生活文化・民族・宗教	１生活文化 ２民族と宗教 ３現代社会の国家 ４民族・領土問題	自学自習できる課題プリントや配布済の問題集を指示に従って学習する。また適宜オンディマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。
	３部地誌的考察 1章現代社会地域区分 2章現代社会の諸地域	１東アジア ２東南アジア ３南アジア ４西・中央アジア ５北アフリカとサハラ以南のアフリカ ６ヨーロッパ ７ロシア ８アングロアメリカ ９ラテンアメリカ １０オセアニア	各地域について、地形と気候、自然、歴史、文化、民族、宗教、農林水産業、経済と経済圏、諸地域との関わりなど幅広く、多角的視野に立って考察しながら理解を深める。大きな地理的展開を理解し地理的考察力を深めとともに、詳細な部分の理解にも努める。 さらに、共通試験、難関大学の受験に対応できる学力を身につけるために、自ら考察を深め自
三学期	特別授業	共通試験問題演習	自学自習できる課題プリントや配布済の問題集を指示に従って学習する。また適宜オンディマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。 論述問題などに対応できる実力を養成する。個々の生徒の状況に合わせた演習・課題等を実施する。

評価の観点と方法	評価は、定期考査・小テストを中心に、課題の提出状況など平常の学習活動も評価の対象とする。

令和２年度　年間授業計画　　東京都立小山台高等学校

教科名	地理歴史	科目名	世界史B（演習）

学年	授業形態
3	選択

単位数	授業時数
2	78

使用教科書・補助教材

『山川出版社　詳説世界史Ｂ 改訂版』
『浜島書店　ニューステージ世界史詳覧』
『浜島書店　総合マスター世界史Ｂ』

学習目標

現代の視点と、日本人の立場から、世界の歴史に関する基本的事項を理解させ、歴史的思考力を培う。現在発生中の出来事の歴史的背景を考察する。また、問題演習を通して、大学入試に対応できる学力の向上を図る。

授業内容の概要

学期	単元名 学習項目	学習内容	家庭で学習すること(学習形態⇒確認方法) 学校で学習すること
一学期	欧米における近代社会の成長	産業革命 アメリカ独立革命と発展 フランス革命とナポレオン時代	大学入試問題等の演習問題を配布して自宅学習に取り組み、授業で解説を行い、学習事項の定着を図っていく。適宜、オンライン授業も実施する。
	欧米における近代国民国家の発展	ウィーン体制とヨーロッパの再編 １９世紀欧米の文化	近代とは何かという問いについて、市民革命・ナショナリズム・自由主義・資本主義などをキーワードに考察し、理解を深めていく。歴史的事項の単なる暗記だけでなく、史実を通して歴史の意味を説明できるように指導する。
二学期	帝国主義とアジアの民族	帝国主義と列強の展開 世界分割と列強対立 アジア諸国の改革と民族運動	登校時やオンラインで、大学入試問題等の自学用演習問題を配布し、自主的に問題演習の実践を積んでいく。そして、授業で解説・確認を行い、自習事項を定着させていく。必要に応じて、オンライン授業も実施する。
	二つの世界大戦	第一次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 世界恐慌とファシズム諸国の侵略 第二次世界大戦	現代世界の形成と展開について、現在の時事的な課題との関連を重視して考察していく。世界史の中の日本という視点も重視していく。学習にあたっては、論述問題等も活用して、現代世界を多角的に理解し、思考力・判断力に加えて表現力も育む。
三学期	問題演習 テーマ史学習	大学入試対策問題演習 重要テーマ史	各生徒の個別の受験に対応した入試演習問題を配布し自主的に取り組む。そして授業やオンラインで、解説や個人指導を行う。
			大学入試対策の問題演習と重要テーマ史演習を通して、大学入試に対応できる実践的な応用力の完成を図る。

評価の観点と方法

問題演習を通じ、現代世界の形成の歴史的過程と世界の歴史における各文化圏の地域的特色について理解できたか、また歴史的思考力を培うことができたかを、授業中における小テストならびに日常の授業態度や取り組む姿勢などにより、総合的に判断し評価する。

令和２年度　年間授業計画　　東京都立小山台高等学校

教科名	公民	科目名	選択現社
使用教科書・補助教材			
実教出版　「高校　政治・経済」　とうほう 「政治・経済資料2020」			

学年	授業形態
３年	必修選択

単位数	授業時数
2	78

学習目標	主権者として、政治や経済に関する基本的な知識を身に付けさせるとともに、社会事象を批判的に考察する力をつけ、社会に対する関心を高めさせる。共通テストに対応できる学力を身に付けさせ、自ら学ぶ姿勢を育てる。

授業内容の概要

学期	単元名 学習項目	学習内容	家庭で学習すること(学習形態⇒確認方法) 学校で学習すること
一学期	民主政治の基本原理について	政治とは何か、社会の成立についての思想、法律と法の支配について理解させる。　基本的人権の獲得の歴史について理解させる	自習用の解説と学習課題プリントをＨＰにアップして学習を支援する。 オンラインを用いた解説動画をアップする。
	人権の国際化について 日本国憲法の基本的性格について 平和主義 基本的人権の尊重	世界各国の人権獲得の歴史から、現在の国際的な広がりの意義について理解させる 日本国憲法の成立過程を学ばせ、三大原意義について理解させる。 日本が平和主義を掲げている理念について理解させる。また憲法で保障された人権や、新たな人権の考え方などについて理解させる	世界で起きている人権問題について、広い視野に立って考察できる力を育てる。　人類の人権獲得の歴史を学んだ上で、日本国憲法の人権保障の意義や、人権を保持し発展させる重要性などについて深く考察させ、主権者としてよりよい社会を築き、共に生きていく意義を理解させる。　共通テストに向けて、学んだ知識を理論的に展開
二学期	日本の政治機構について 国会　内閣　裁判所 地方自治	憲法の規定をベースに、日本の民主政治の理念と三権の役割・制度について理解させる。	自習用の解説と学習課題プリントをＨＰにアップして学習を支援する。 オンラインを用いた解説動画をアップする。
	現代の国際政治 国際政治の基本理念 国連の機構 戦後政治の歩み 国際紛争 日本の役割	現在の国際社会を運営する基本理念や、国際機構の役割について理解させる。 米ソ冷戦、第三世界、多極化などの国際情勢の変化について理解させる。 こうした変化の中で、日本が果たせる役割を考えさせる。	これまでの人類の歩みをベースにして、現代の国際社会が築かれるまでの経過や、国際社会が共有する基本理念などについて、理論的に考察する。 第２次世界大戦後の国際社会の歴史を理解させ、現代が抱える諸問題につい 現在の国際政治において、日本が果たすべき役割を考察する。
	経済社会の変容 市場機構と市場の限界	現代に至るまでに、経済体制はどのような変化を遂げてきたかを学ぶ。資本主義とその修正、社会主義体制の違い。　経済主体、市場の仕組みと市場の限界について学ばせる。	世界の経済体制の変化の歴史と、それぞれの体制の違いを理論的に考察する。　また現在の世界では、市場機構が再び主流となっている。市場機構の利点やその問題点などを理論的に考察する。 これらの過程で経済の基本理論を習得し、入試問題などに論理的に対応できる力を養う。
三学期	共通テストの演習 より理論的な深い出題に対する演習	共通テストなどの演習を用いて、学習したことを発揮する機会とさせる。	各自が演習に取り組むように、自学自習を目指す。また問題の解説を通して、学習内容を深める。

評価の観点と方法	評価は、定期考査・小テストを中心に、課題の提出状況など平常の学習活動も評価の対象とする。

令和２年度　年間授業計画　　東京都立小山台高等学校

教科名	公民	科目名	政治経済
使用教科書・補助教材			
実教出版　「高校　政治・経済」 とうほう　「政治・経済資料2020」			

学年	授業形態
３年	必修

単位数	授業時数
2	78

学習目標	主権者として、政治や経済に関する基本的な知識を身に付けさせるとともに、社会事象を批判的に考察する力をつけ、社会に対する関心を高めさせる。共通テストに対応できる学力を身に付けさせ、自ら学ぶ姿勢を育てる。

授業内容の概要

学期	単元名 学習項目	学習内容	家庭で学習すること(学習形態⇒確認方法) 学校で学習すること
一学期	経済社会の変容 市場機構と市場の失敗	現代に至るまでに、経済体制はどのような変化を遂げてきたかを学ぶ。資本主義とその修正、社会主義体制の違い。　経済主体、市場の仕組みと市場の限界について学ぶ。	自習用の解説と学習課題プリントをＨＰにアップして学習を支援する。 オンラインを用いた解説動画をアップする。
	企業の活動、国民所、経済成長について 金融の仕組みについて 財政に仕組みについて 戦後日本の経済発展につて	株式会社を中心とした企業活動についてまた経済活動を把握する統計の見方、経済成長の概念と計算について学ぶ。 通貨と金融、中央銀行と経済政策につい 予算の計上、財政の役割と財政政策につ また税制と国債の問題について学ぶ。 戦後の復興から高度成長、バブル期、現までの日本経済の変遷について学ばせる	世界の経済体制の変化と、市場経済について経済理論の基礎を学んだことを踏まえ、現代の日本経済を支える企業活動や、国民所得などの指標・統計などについて学習する。　また金融や財政の仕組みと役割を学び日本の経済政策とその問題点などについて考察できる能力を養う。 共通テストに向けて、学んだ知識で正答を導けるように理解を深める。
二学期	国際経済 世界経済と日本について	国際経済に関する理論を理解させ、世界にまたがる諸問題を考察する。またその中で、日本が果たせる役割についても考察させる。	自習用の解説と学習課題プリントをＨＰにアップして学習を支援する。 オンラインを用いた解説動画をアップする。
	民主政治の基本原理につて	政治とは何か、社会の成立についての思想、法律と法の支配について理解させる。　基本的人権の獲得の歴史について理解させる。	現代の社会を築くまでの人類の歩みについて国家権力との闘いや自由と人権の獲得の歴史を考察させる。その学習過程において、現代の基本的人権を守ることがいかに重要か、深く考えることが大切である。
	人権の国際化について	各国の人権の獲得から、現代の人権の国な広がりを理解させる。	世界で起きている人権問題について、人類が歴史的に獲得してきた理念や理論をもとに、広い視野に立って考察できる力を育てる。
	日本国憲法の基本的性格ついて	日本国憲法の成立過程を学ばせ、三大原則の意義について理解させる。 日本が平和主義を掲げている理念について理解させる。 現在、憲法で保障されている基本的人新たな人権についての考え方などについて理解させる。	人類の人権獲得の歴史を学んだ上で、日本国憲法の人権保障の意義や、人権を保持し発展させる重要性などについて深く考察させ、主権者としてよりよい社会を築き、共に生きていく意義を理解させる。　またそのための基礎となるのは平和であり、日本が国際平和のためにできることは何かも考察させる。
三学期	共通テストの演習 より理論的な深い出題にする演習	共通テストなどの演習を用いて、学習したことを発揮する機会とさせる。	各自が演習に取り組むように、自学自習を目指す。また問題の解説を通して、学習内容を深めさせる。

評価の観点と方法	評価は、定期考査・小テストを中心に、課題の提出状況など平常の学習活動も評価の対象とする。

令和２年度　年間授業計画　　東京都立小山台高等学校

教科名	地歴公民	科目名	日本史Ｂ
使用教科書・補助教材			
『詳説日本史Ｂ』（山川出版社） 『詳説日本史図録』（山川出版社）			

学年	授業形態
２年	必修

単位数	授業時数
2	78

学習目標	日本の歴史を広く世界史的視点に立って、政治・経済・文化などの歴史を近現代史を中心に総合的に理解させ、歴史的思考力を養う。あわせて生徒のめざす難関大学の受験の学力向上を目指す事を目標とする。

授業内容の概要

学期	単元名 学習項目	学習内容	家庭で学習すること（学習形態⇒確認方法） 学校で学習すること
一学期	原始古代 中世 近世	１．日本文化のあけぼの ２．律令国家の形成 ３．貴族政治と国風文化 ４．中世社会の成立 ５．武家社会の成長 ６．幕藩体制の確立 ７．幕藩体制の展開 ８．幕藩体制の動揺	自学自習できる課題プリントや配布済の問題集を指示に従って学習する。また適宜オンディマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。 前近代の日本史を政治史・社会経済史・文化史を中心に、広く世界史的視野に立って考察しながら理解を深める。詳細な部分よりは大きな歴史的展開を理解し、歴史的考察力を深める。
二学期	近代	９．近代国家の成立 １０．近代日本とアジア	自学自習できる課題プリントや配布済の問題集を指示に従って学習する。また適宜オンディマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。 近代の日本史を政治外交史・社会経済史を中心に、広く世界史的視野に立って考察しながら理解を深める。詳細な部分よりは大きな歴史的展開を理解し、歴史的考察力を深める。
三学期	現代	１１．占領下の日本 １２．高度成長の時代 １３．激動する世界と日本	自学自習できる課題プリントや配布済の問題集を指示に従って学習する。また適宜オンディマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。 現代の日本史を政治外交史・社会経済史を中心に、広く世界史的視野に立って考察しながら理解を深める。詳細な部分よりは大きな歴史的展開を理解し、歴史的考察力を深める。

評価の観点と方法	評価は、定期考査・小テストを中心に、課題の提出状況など平常の学習活動も評価の対象とする。

令和２年度　年間授業計画　　東京都立小山台高等学校

教科名	地理歴史	科目名	世界史B
使用教科書・補助教材	『山川出版社　改定版　詳説世界史Ｂ』『浜島書店　ニューステージ　世界史詳覧』『浜島書店　総合マスター世界史B』		

学年	授業形態
２年	必修

単位数	授業時数
2	78

学習目標	現代の世界が歴史的に形成されてきた過程を知るとともに世界の各文化圏の特色を理解し、幅広い視野と歴史的思考力を養う。

授業内容の概要

学期	単元名 学習項目	学習内容	家庭で学習すること(学習形態⇒確認方法) 学校で学習すること
一学期	先史の世界 オリエントと地中海世界	先史の時代 古代オリエント世界 ギリシア世界 ローマ帝国と地中海世界	課題を設定し、プリントを配布して自宅学習に取り組み。適宜オンライン授業を実施する。
	アジア・アメリカの古代文 東アジア世界の形成 内陸アジア世界の変遷 イスラーム世界の形成と発 ヨーロッパ世界の形成と発	インド・東南アジアの文明 中国を中心とした東アジア世界 遊牧社会の展開 イスラーム世界の拡大と発展 インド･東南アジアのイスラーム化 西ヨーロッパ世界の形成と発展 東ヨーロッパ世界の形成と発展 西ヨーロッパ世界の変容	基本的な知識や概念を精選して学習内容を構成し、詳細な知識に深入りしないよう留意する。歴史地図を使用し、地理の既習事項と関連付けながら考察させる。
二学期	近代ヨーロッパの成立 ヨーロッパ主権国家の展開 帝国主義とアジアの民族運	ヨーロッパ世界の拡大 大航海時代 ルネサンス 宗教改革 主権国家体制の形成 重商主義政策と啓蒙主義 ヨーロッパ諸国の海外進出 17～18世紀のヨーロッパ文化 帝国主義と欧米列強の世界進出 アジアの民族運動と植民地化	課題を設定し、プリントを配布して自宅学習に取り組み。適宜オンライン授業を実施する。 ヨーロッパの拡大を背景とする諸地域世界の一体化が進み、近代社会が形成されていった過程を大きな流れで捉えさせる。歴史地図で地理的観念を持たせる。
三学期	二つの世界大戦 冷戦と第三世界の自立 現代の世界	第一次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制と欧米諸国 世界恐慌とファシズム諸国の台頭と侵略 第二次世界大戦 戦後の東西対立と第三世界の形成 冷戦終結と現代	課題を設定し、プリントを配布して自宅学習に取り組み。適宜オンライン授業を実施する。 文化の多様性・複合性や相互に諸地域世界の一体化が進み、現代のグローバルな社会が形成された過程を大きな流れの中で捉えさせる。

評価の観点と方法	現代世界の形成の歴史的過程と世界の歴史における各文化圏の特色について理解し、また歴史的思考力を培うことが出来たかを、定期考査、提出物、日常の授業における態度などにより総合的に判断し、評価する。

令和２年度　年間授業計画　　東京都立小山台高等学校

教科名	地理歴史	科目名	地理B
使用教科書・補助教材			
『新詳地理Ｂ　帝国書院』 『新詳高等地図帳　帝国書院』 『新詳地理資料集COMPLETE2020　帝国書院』			

学年	授業形態
1	必選

単位数	授業時数
2	78

学習目標	系統的、地誌的双方の観点を織り交ぜながら、多面的・多角的な地理的なものの見方や国際的視野を広げる。 共通試験への対応も配慮する。

授業内容の概要	学期	単元名 学習項目	学習内容	家庭で学習すること(学習形態⇒確認方法) 学校で学習すること
	一学期	1部2部地理的技能・考察 1章自然環境	１世界の地形 ２世界の気候 ３日本の自然の特徴と人々の生活	自学自習できる課題プリント・配布済の問題集を指示に従って学習する。適宜オンデマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。
		2章資源と産業 ３章人口・村落・都市	４環境問題 1世界の農林水産業 ２食糧問題 ３世界のエネルギー ４世界の工業 ５第三次産業 ６世界の交通・通信 ７現代社会の貿易と経済圏	世界の地形について、営力的な視点で分類し地形の成因を考察するとともに人間生活との関わりなど幅広く、多角的視野に立って考察しながら理解を深める。大きな地理的展開を理解し地理的考察力を深めとともに、詳細な部分の理解にも努める。 さらに、共通試験に対応できる学力を身につけるために、自ら考察を深め自身の言葉で各事項を表現できるようにする。
	二学期	4章生活文化・民族・宗教	１生活文化 ２民族と宗教 ３現代社会の国家 ４民族・領土問題	自学自習できる課題プリントや配布済の問題集を指示に従って学習する。また適宜オンディマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。
		３部地誌的考察 1章現代社会地域区分 2章現代社会の諸地域	１東アジア ２東南アジア ３南アジア ４西・中央アジア ５北アフリカとサハラ以南のアフリカ ６ヨーロッパ ７ロシア	各地域について、地形と気候、自然、歴史、文化、民族、宗教、農林水産業、経済と経済圏、諸地域との関わりなど幅広く、多角的視野に立って考察しながら理解を深める。大きな地理的展開を理解し地理的考察力を深めとともに、詳細な部分の理解にも努める。 さらに難関大学の受験に対応できる学力を身につけるために、自ら考察を深め自身の
	三学期		８アングロアメリカ ９ラテンアメリカ １０オセアニア	自学自習できる課題プリントや配布済の問題集を指示に従って学習する。また適宜オンディマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。
		３章現代世界と日本	１現代世界に関わる日本	国際協力、組織などを学習し、結びつきを学ぶ。近隣諸国との関係を歴史・経済・文化交流の観点から考えさせる。

評価の観点と方法	評価は、定期考査・小テストを中心に、課題の提出状況など平常の学習活動も評価の対象とする。

令和２年度　年間授業計画　　東京都立小山台高等学校

教科名	公民	科目名	現代社会
使用教科書・補助教材			
高等学校新現代社会　帝国書院 最新現代社会資料集　第一学習社			

学年	授業形態
1	必修

単位数	授業時数
2	78

学習目標	広い視野に立ち、特に変化の著しい現代の社会と人間についての理解を深めさせ、社会に生きる人間としての在り方生き方を考察させる。自ら考える授業を展開し、社会問題を考察し判断できる良識ある公民として必要な能力・態度を身につけさせる。

授業内容の概要

学期	単元名 学習項目	学習内容	家庭で学習すること(学習形態⇒確認方法) 学校で学習すること
一学期	青年期の意義	青年期の心理、防衛機制 心理テスト、願い 男女について 社会参画について	自習用の解説と学習課題プリントをＨＰにアップして学習を支援する。 オンラインを用いた解説動画をアップする。
	よく生きるとは	よく生きると サンデル ギリシャの哲学者 学ぶことについて 孔子、ヘーゲル 　　学びの分類　ユスフザイ、 他者とともに生きること アーレント、セン 新教科公民 宗教について 日本人の思想、文化交流史	人間とは何かを考えながら、自己の生きる課題との関わりにおいて、青年期の意義と課題を理解させ、人間の存在や価値について思索を深め、自らの生き方あり方を主体的に追究させる。
二学期	近代立憲主義 　憲法の意義 日本国憲法 　憲法の制定過程 基本的人権	近代立憲主義の原理 市民革命と人権宣言 日本国憲法の成立と平和主義 自由権 平等権 社会権 広がる人権、公共の福祉と人権	自習用の解説と学習課題プリントをＨＰにアップして学習を支援する。 オンラインを用いた解説動画をアップする。 国家や政治の意味、民主政治の成り立ちやその背景にある思想について学び、法の支配や権力分立の原理など人権を守るために採用された仕組みについて理解させる。特に主権者教育の観点から、選挙の意義や現状の問題点を理解させる。
	日本の政治機構と政治参加 地方自治 選挙制度	国民主権と議会制民主主義 国会、内閣と行政 世界の政治体制 司法 　刑事裁判と裁判員制度 　地方自治の本旨と実態 　政党政治 　選挙制度と民主主義	日本国憲法、人権保障と統治機構について学ばせ、自由と民主主義の基本原理の重要性を理解させる。民主主義社会を形成する一員として、自ら考える姿勢を育て、社会に対する批判的考察力を身に付けさせる。
三学期	現代の経済社会と私たちの生活	経済社会の変容 企業 市場経済のしくみ 金融と財政 戦後日本経済史 消費者、中小企業、農業 労働問題	自習用の解説と学習課題プリントをＨＰにアップして学習を支援する。 オンラインを用いた解説動画をアップする。 現代の経済社会の変容に触れながら、経済の基本的な知識について理解させ、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。

評価の観点と方法	考査をもとに、小テスト、課題の提出状況など平常の学習活動を加味して評価をする。